

科目	地理B	学年	第3学年	開講	通年	必修	2 単位
----	-----	----	------	----	----	----	------

学習目標	系統地理で学習した知識を地誌で深化させ総合力を養成する。・単元別受験対応プリントで、基礎の確認から実践問題の演習をおこなう。・総合力養成問題を通して、試験での得点力を高める。
------	--

教科書： 帝国書院 「新詳地理B」(2年より継続)「新詳高等地図」(2年より継続)

副教材： 帝国書院 「新詳地理資料COMPLETE」(2年より継続)「パワーアップ整理と演習」(2年より継続)

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考查			
前期	第1部	系統地理	地理情報と地図	パワーアップ 整理と演習で実践力を強化	4				
			世界の地形						
			世界の気候	地図帳や資料集に加え、ICTを積極的に活用し自ら調べ知識の幅を広げるとともに理解の深化を目指す。 センター試験等の過去問練習を通して実践問題の対応力と総合力を強化する。	5	中間			
			世界の工業						
			世界を結ぶ交通・通信						
			世界の人口/人口問題						
			世界の農林水産業/食料問題						
			統計資料のグラフ化						
			世界のエネルギー・鉱産資源						
			日本の自然の特徴と人々の生活						
			第3次産業				6		期末
			環境問題						
			現代世界の貿易と経済圏						
			村落と都市/都市・居住問題				7		
			生活文化、民族・宗教/領土問題						
	前期 授業評価								
	後期	第2部	地誌	現代世界の地域区分 現代世界の諸地域	7月～夏季：諸地域ごとに系統地理の知識を深化させ、実践力を身に着ける。	8	9 11 1 3	中間 期末	
地理B総合			センター試験対策 大学入試対策	総合力養成問題を中心に弱点の確認と強化をおこない、志望大学合格の実力を身に着ける。					
後期 授業評価									

評価の観点 評価方法	志望大学の合格にむけて、自分の弱点を克服し確実に得点力を伸ばすことができたか。 ○知識・技能 : 定期考査、レポート ○思考・判断・表現 : 定期考査、レポート ○主体的に学習に取り組む態度 : 平素の授業態度、提出物等 <評価算出方法> 定期考査(100点×4)＋平常点(100点)/500点 ※考査素点4:平常点1の割合で算出する。
---------------	---